



いながわ

編集・発行 猪名川町 総務部 総務課
〒666-0292
兵庫県川辺郡猪名川町上野字北畑11-1
電話番号 072 (766) 0001 (代表)
FAX番号 072 (766) 3732

人の動き	人口	: 32,082 (+49)
	男	: 15,501 (+18)
	女	: 16,581 (+31)
	世帯	: 11,149 (+21)
	(平成19年11月1日現在)	



地域のイベントを楽しむ子ども達(つつじが丘小学校区住民運動会)

育てよう 一人一人の人権意識

思いやりの心・かけがえない命を大切に

12月4日～10日は人権週間

12月10日は、昭和23年国連総会にて、「世界人権宣言」が採択されたことを記念して「人権デー」と定められています。その「人権デー」を最終日とする1週間が「人権週間」です。町では、「世界人権宣言」の意義を訴え、人と人のつながりの大切さや、人権意識の向上を図る行事を行っています。

猪名川町では、「育てよう一人一人の人権意識」思いやりの心・かけがえない命を大切に」を合い言葉に、人権意識の向上を図るため、人権週間中に「人権を考える町民のつどい」や「街頭啓発」を

展開します。

一人ひとりが、家庭・地域社会・学校・職場など日常生活におけるさまざまな場面で、自由な発想と責任ある行動を基本に、お互いの人権を尊重しながら、すべての人々が幸せに生きることのできる、そして共に喜ぶことのできる社会の構築をめざして取り組んでいきます。

～全国中学生人権作文コンテスト兵庫県大会～

猪名川中学校の西田遥さんが優秀賞を受賞

全国中学生人権作文コンテスト兵庫県大会において、9万8,062点の応募の中から、猪名川中学校1年生の西田遥さんの作品が優秀賞に選ばれました。この作品は神戸地方方法務局伊丹支局管内で最優秀賞に選ばれ、兵庫県大会に出品されたものです。西田さんは「高齢化社会で大変な生活をされているお年寄りも多いけど、みんなに大切にされて、こんなに幸せに生きている高齢者もいることを知ってほしい」との思いから書かれました。



西田遥さん

長文のため、一部を抜粋してご紹介します。全文は町のホームページ「活躍するいながわっ子」で掲載します。

なあなあおばあちゃん

「なあなあおばあちゃん」それは、私が小さい頃呼んでいたおばあちゃんの呼び名です。なぜかと言うと、私のおばあちゃんはアルツハイマー病でいつも、「なあなああ・・・」と歌っていたからです。

おばあちゃんアルツハイマー病は、お母さんが中学生になった頃から始まり、私が生まれた頃、私を連れて家に行くと「こんにちは」と笑顔でまるで初めて会ったようにあいさつをされたそうです。

おじいちゃんは、医師である自分の弟に、おばあちゃんの病気のことを相談し、「このことは、みんな(親せき)にはいわないでほしい。」と頼みました。すると、その医師のおじいさんは、「かくすべきではない。周りの人たちにすべて話して、理解してもらって力になってもらうべきだ。」といったそうです。

お母さんは、その後おじいさんから、「三脚は三方から支えてもらっているから立つことができるんだ。一本では倒れてしまう。支えている数が多ければ多いほど倒れにくくなる。これから、おばあちゃんを介護するおじいちゃんを、みんなで支えてあげなさい。」といわれたそうです。おじいちゃんはその後、ホームヘルパーの資格をとったり、「家族の会」の活動に参加したりして勉強をし、いろいろなサービスを利用しながらテニス

やコーラスといった、自分の趣味で息抜きをして、おばあちゃんを介護していました。周りの家族も、できるはんに手伝ってきたようです。

時々ニュースで、介護疲れから心中をしたり、老人の孤独死といった話をよく聞きますが、周りの人たちがしっかり支えてあげたり、いろいろなサービスを知って利用することができていたらこんなことは、おこらなくてすんだと思います。そのためには、自分の病気や家族やその周りの人の病気の事をかくさずに言える社会にしていく必要があると思います。

私もコーラスのボランティアで、老人施設によく行きました。その時、おばあさんが私の手を握って泣いて喜んでくれたのでとても嬉しく印象に残っています。大きなことはできないけど、これが私のできることなんだなと感じました。これからも自分なりにできることを見つけていきたいです。

なあなあおばあちゃんは今、3年ほど前から、寝たきりで入院しています。ほとんどの時間目をつむっているし、口から物も食べられず、しゃべることもできませんが、1日2回おばあちゃんのところに通っているおじいちゃんにはベッドの横で歌を歌ったり話しかけたり今もしています。そんなおじいちゃんはずいぶんと思うし、おばあちゃんには幸せだと思います。

「人権を考える町民のつどい」では、子ども達自らの存在意義を見出し、出ていくことを目的に、アジアの国々を訪れ子ども達に国際ボランティアの経験を積みながら、「命」を見つめ直す旅「夢便」の活動をされている高森拓也さんをお招きし、活動の様子をVTRを見ながらお話しいただきます。ぜひ、親子一緒にご参加ください。

【表彰式】住民参加による人権啓発を目的として募集した標語・絵手紙・習字の応募作品の紹介と、入選作品の表彰を行います。

【講演会】「さあ、行くぞベイビー!!」地球体感キャラバン【命】の旅
講師 高森拓也さん(子どもNGO「懐」代表)

神戸地方方法務局伊丹支局と伊丹人権擁護委員協議会では、

人権を考える町民のつどいを開催
とき 12月8日(土)午後1時30分
ところ 文化体育館(小ホール)

主催 猪名川町、町教育委員会、町人権・同和教育研究協議会
「第59回人権週間」行事の一環として、12月5日(水)午前11時から正午まで日生中央駅前において街頭啓発を実施します。

街頭啓発を実施

法務局からのお知らせ

お問い合わせは、木津総合会館(768・0217)へ。

今月号の主な内容

2面 特別支援教室を推進
3面 保育園児を募集
4面 平成19年度上半期財政事情を公表
6面 情報ポケット
7面 図書館相談あれこれ
8面 いながわ特派員報告